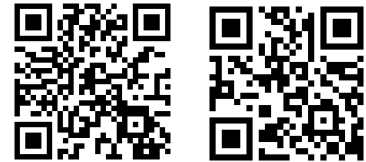


地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第208号



2024年2月29日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail:lycoris06@jcom.home.ne.jp

ホームページ メール

90-1837-5347 239-0822 横須賀市浦賀6-8-1 田中気付



拡大幹事学習会② フッ素の化学

旗開きに、34名参加！

4年ぶりに、来賓招待・飲食ありと、完全な形態で開催された旗開きは、1/26(金)産業プラザに34名参加で盛り上がりました。

オープニングの「いやしんす」が、4曲演奏してくれて始まった旗開き。神奈川労連の藪さん、県医労連の柏木書記長、労働センターの遠藤さん、共産党市議の井坂市議、遅れて井坂県議から来賓挨拶を頂きました。

自交総連・辻さんの乾杯の

あと、各単組からの決意表明を受けました。ビキニ被災70周年三浦市民大会・ライドシェア反対・年金裁判・ホテルフロントの争議などの訴えもありました。

ここ数年続けている写真の上映は、時間が足りなくなつて、だいぶはしょってしまいました。そもそも、盛りだくさんすぎて無理なスケジュールでした。運営がまずくて、失礼しました。

高校時代、ハロゲンの研究に血道をあげ、特にフッ素の単離に情熱を燃やした。フッ素は、全ての元素中、最も反応性が強く、異常な電気陰性度を持つ。

フッ素の化合物、フッ素を含む有機化合物も、この異常な電気陰性度によって特徴づけられる。ハロゲン元素は、光反応を起こしやすい性質を持つが、フッ素はその異常な電気陰性度により、化合物は光にも安定である。なので私は、フロンに塩素を含まなければ、全く問題ないと考えてしまった。

しかし、その異常な電気陰性度は、有機化合物に対し、異常な程の安定性を与えてしまった。さらにまた、さまざまな毒性をも与えてしまった。それが今日のPFASの問題になっている。

高校時代、独自にフッ素の単離方法を発明し、その後もサリンなど、折にふれてフッ素との関わりを持ってきたが、そのフッ素の有機化合物が、21世紀に、このような環境汚染を引き起こすとは、全く考えて来なかった。おのれの不明さを恥じている。 田中隆雄

全県一斉春闘宣伝に7名参加！

2/18(日)、恒例の全県一斉宣伝に、神奈川労連・山田事務局長を含む7名が参加し、チラシを200枚配布しました。24春闘がスタートし、多くの単組で、春闘要求を提出しています。今後、3/3の春闘総決起行動(集会・11時山下公園石の広場)、チラシ全戸配布(4/6(土)14時堀ノ内駅集合)と続きます。頑張りましょう！

